

各位

会社名 株式会社フレクト
代表者名 代表取締役CEO 黒川 幸治
(コード番号：4414 東証グロース)
問い合わせ先 執行役員ファイナンス 河田 紘史
& アカウンティング本部長CFO
TEL. 03-5159-2090

2027年3月期第1四半期決算 高い関心が想定される事項

2027年3月期第1四半期決算について、投資家の皆様の高い関心が想定される事項を、以下のとおり記載いたしました。

Q1. 2027年3月期第1四半期会計期間の業績及び、第2四半期以降の見通しについて

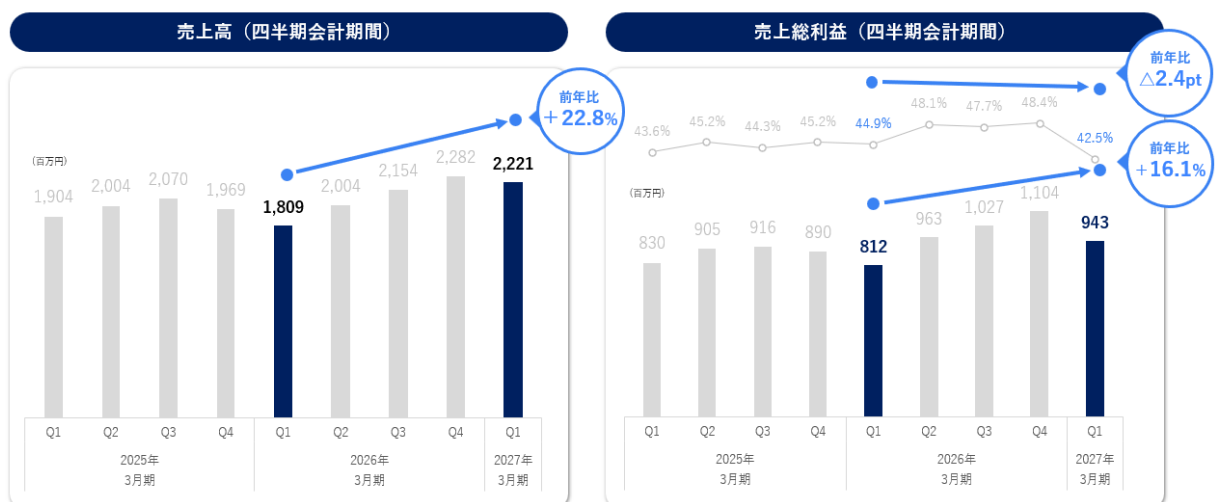
A1. 過去最高の1Q売上高を達成（決算説明資料P. 6、8）

2027年3月期第1四半期会計期間の売上高は、データ連携、ID統合及びデータ統合プラットフォームの構築にAIを加えたトータルサービスの提供が総じて既存顧客との取引拡大に繋がり、2,221百万円（前年同期比+22.8%）と過去最高となりました。将来の持続的成長を企図した人材やAI活用、IDパッケージ事業等への投資を積極的に進めております。一方、進行中の一部プロジェクトにおいて品質・進捗面での対応を優先したことにより、後続案件の積み増しに至らなかった案件がありました。第2四半期会計期間以降の収束を見込んでいることに加え、7月以降は公共分野における案件の入札・開札を控えており、業績の拡大を見込んでおります。

利益率につきましては、一部のプロジェクトにおいて一時的にリソースを追加したことにより、売上総利益率は前年同期比2.4pt、営業利益率は同3.6ptそれぞれ低下いたしました。

（2027年3月期-第1四半期）業績推移

データ連携、ID統合及びデータ統合プラットフォームの構築にAIを加えたトータルサービスの提供が総じて既存顧客との取引拡大に繋がり、売上高は2,221百万円（前年同期比+22.8%）と過去最高の第1四半期会計期間売上高となりました。一部のプロジェクトにおいて一時的なリソースを追加したことにより、売上総利益率は42.5%（前年同期比△2.4pt）と低下し、売上総利益額は943百万円（前年同期比+16.1%）となりました。



(2027年3月期-第1四半期) 業績推移

売上総利益率の低下に伴い、営業利益は64百万円（前年同期比△45.3%）、当期純利益は37百万円（前年同期比△47.3%）となりました。

